らいぶらりい 2月号

R4・2・15

豊明中学校・学校図書館

もうすぐとどく本（ほん）

- 『赤と青のエスキース』 青山美智子著
- 『硝子の塔の殺人』 知念実希人著
- 『黒牢城』←直木賞受賞作☆ 米沢穂信著
- 『残月記』 小田雅久仁著
- 『スモールワールズ』 一穂ミチ著
- 『正欲』 朝井リョウ著
- 『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬著
- 『星を掬う』 町田そのこ著
- 『夜が明ける』西加奈子著
- 『六人の嘘つきな大学生』 朝倉秋成著

「本屋大賞」とはナニ？

NPO 法人 本屋大賞実行委員会が 2004 年に設立。書店（オンライン書店含む）で働く書店員が選ぶ、新刊書の文学賞です。

書店員は過去 1 年間に発刊された書籍を対象に、読んで「面白い！」「売りたい！」と思った本に投票します。

大賞の発表は 4 月 6 日！どの本が大賞を受賞するのか楽しみですね。

過去の大賞受賞作

2021 年「５２ヘルツのクジラたち」町田そのこ著

2020 年「流浪の月」凪良ゆう著

2019 年「そして、バトンは渡された」瀬尾まいこ著

2018 年「かがみの孤城」辻村深月著

2017 年「蜂蜜と遠雷」恩田陸著

全部あります

ちいさな　ゆき

まど・みちお

ちいさな　ゆきが
ちらりん　ひとつ
ひとさしゆびに　おりてきた
ひとさしゆびの　ゆびさきに
てんの　つかいのように　して

ちいさな　ゆきが
ちらりん　ひとつ
ひとさしゆびで　きえちゃった
ひとさしゆびの　ゆびさきで
てんの　ようじは　いわないで

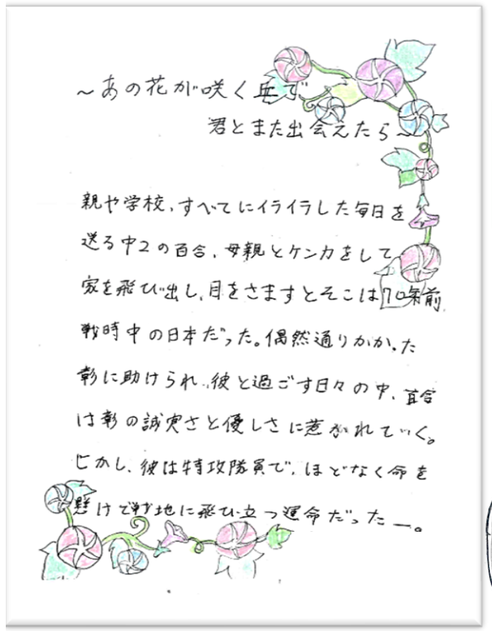
『まど・みちお全詩集』（理論社）

「犬がいた季節」　伊吹有喜

実話をもとに書かれた本です！

6本の短い話でできている小説で、小説が苦手な人でも十分楽しめるし、飽きずに最後まで読むことができます。また、2021年の本屋大賞で3位を獲得している本なので、とても人気な本になっています。
ストーリーは、作者が出身の高校をモチーフにした「八陵高校」で繰り広げられます。美術部に飼われている犬「コーシロー」。なぜ学校へ来たのか？なぜそんな名前なのか？知りたい人、図書館に集まれ～！

アオハルと感動の6本立て！ぜひぜひ読んでね～


～あの花が咲く丘で
君とまた出会えたら～

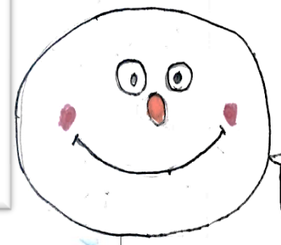
親や学校、すべてにイライラした毎日を送る中2の百合、母親とケンカをして家を飛び出し、目をさますとそこは70年前戦時中の日本だった。偶然通りかかった彰に助けられ、彼と過ごす日々の中、百合は彰の誠実さと優しさに惹かれていく。
しかし、彼は特攻隊員で、ほどなく命を懸けて戦地に飛び立つ運命だった―。

藤井聡太 天才はいかに生まれたか　松本博文

将棋界は「天才集団」といわれる。ただし「天才」の基準は、実にきびしい。そうした世界で藤井聡太は手放しで「天才」と絶賛される存在である。本書では藤井の生い立ちから、将棋を覚え、強くなり、棋士となって活やくする現在までを記している。この本は将棋が好きな人にはおすすめの一冊です。

３年生図書委員

おすすめの本



マシュマロくんからのお便り

図書館だより 2月号

探偵は、もう死んでいる。

この小説は、名探偵（シエスタ）のじょしゅが色々な仲間（アイドル、名探偵代理、名探偵の弟子）とかと名探偵（シエスタ）を生きかえすためと、名探偵の最大の敵と戦う物語である。
感動するところも多々あり、ラノベの中で、とくに好きな小説です。
図書室には1～5巻あります。そして僕は1～6巻全巻持っています。小説を読むのを好きではない方はマンガや、アニメもやっていますのでぜひ僕のおすすめなので見てください。

海のサバイバル

主人公のドゥリと女中のリサはお父さんと一緒に海へ出かけるも、船が沈んで海で漂流することに。飲み水までなくなり、絶望している中血に飢えたサメが襲撃してくる。

はたしてドゥリたちは生き残ることが出来るのか。